

2016年度第1四半期 決算概要

2016年8月10日

三機工業株式会社

目次

決算のポイント	03
2016年度第1四半期 累計期間業績（連結）	04
セグメント別受注動向（連結）	05
セグメント別売上動向（連結）	06
セグメント別経常利益（連結）	07
四半期別業績（連結）	08
過去5年の業績推移（連結）	09
主要業種別受注動向（連結）	10
要素別受注動向	11
主な大型受注物件	12
10億円以上の大型受注物件（業種別）	13
利益改善要因と施策（連結）	14
貸借対照表（連結）	15
キャッシュ・フロー計算書（連結）	16
2016年度 業績予想（連結）	17
2016年度 セグメント別受注予想（連結）	18
2016年度 セグメント別売上予想（連結）	19
長期ビジョン “Century 2025”	20
中期経営計画 “Century 2025” Phase1 「重要課題と戦略」	21
中期経営計画 “Century 2025” Phase1 「ESG方針」	22

決算のポイント

〈受注〉

都心部を中心とした大型再開発事業や製造業の国内投資が引き続き堅調であったため、建築設備ではビル空調衛生、産業空調が好調で大幅増加。前年同期に大型案件を受注した反動で機械システムが減少した一方、環境システムで大型案件を受注したことにより、プラント設備では微増し、全体では大幅に増加した。

〈売上・利益〉

売上高は前年同期とほぼ横ばいで推移したものの、原価管理の徹底に加え、作業効率の向上などにより利益率が改善。売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、前年同期と比べ増益となった。

【全体業績】

2016年度第1四半期 累計期間業績（連結）

- ・受注高は前年同期を大幅に上回り、売上高はほぼ横ばいに推移。
- ・売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、全ての利益項目で増益。（単位：百万円）

	(参考) 2014年 6月	2015年 6月	2016年 6月	前年同期対比	増減率(%)
受注高	42,489	46,385	55,338	8,952	19.3
次期繰越高	117,883	113,910	127,860	13,950	12.2
売上高	32,825	34,495	33,866	△628	△1.8
完成工事高	32,533	34,089	33,438	△650	△1.9
不動産事業等売上高	292	406	427	21	5.3
売上総利益	1,700	3,291	3,905	614	18.7
完成工事総利益	1,614	3,190	3,786	595	18.7
不動産事業等総利益	85	100	118	18	18.7
売上総利益率(%)	5.2	9.5	11.5	2.0pt	—
販売費及び一般管理費	3,786	3,921	4,171	250	6.4
営業利益(△は損失)	△2,085	△630	△265	364	—
営業外収益	426	488	400	△88	△18.1
営業外費用	187	112	106	△5	△5.1
経常利益(△は損失)	△1,846	△254	27	281	—
親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	△1,215	△266	△2	263	—

【受注】

SANKI

セグメント別受注動向（連結）

- ・ 建築設備は大型物件受注等によりビル空調衛生、産業空調で大幅受注増。
- ・ 機械システムは前年同期を下回るが、環境システムで前年同期を上回り、プラント設備全体でほぼ横ばい。

（単位：百万円）

セグメント	2015年6月	2016年6月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	13,674	19,835	6,161	45.1
産業空調	13,896	17,756	3,859	27.8
電気	5,126	5,068	△57	△1.1
ファシリティシステム	3,979	3,210	△769	△19.3
建築設備計	36,677	45,871	9,193	25.1
機械システム	4,477	2,030	△2,447	△54.7
環境システム	4,842	7,459	2,616	54.0
プラント設備計	9,320	9,489	169	1.8
設備工事計	45,997	55,360	9,362	20.4
不動産	381	388	6	1.8
その他	142	142	△0	△0.1
調整額*	△135	△552	△416	—
合計	46,385	55,338	8,952	19.3

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【売上】

SANKI

セグメント別売上動向（連結）

・機械システムは期首繰越受注高の増加により増収。

（単位：百万円）

セグメント	2015年6月	2016年6月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	13,572	12,161	△1,410	△10.4
産業空調	9,923	10,351	427	4.3
電気	4,759	4,410	△349	△7.3
ファシリティシステム	1,957	1,729	△227	△11.6
建築設備計	30,213	28,653	△1,560	△5.2
機械システム	1,587	2,434	847	53.4
環境システム	2,331	2,576	244	10.5
プラント設備計	3,919	5,010	1,091	27.9
設備工事計	34,132	33,663	△468	△1.4
不動産	381	388	6	1.8
その他	125	126	1	0.8
調整額*	△144	△312	△168	—
合計	34,495	33,866	△628	△1.8

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【利益】

セグメント別経常利益（連結）

（単位：百万円）

セグメント		2015年6月	2016年6月	前年同期対比	増減率（%）
セグメント利益又は損失（△）	建築設備	121	46	△74	△61.8
	機械システム	△171	121	292	—
	環境システム	△689	△546	142	—
	設備工事計	△739	△378	360	—
	不動産	66	62	△4	△6.1
	その他	10	14	3	32.2
	調整額*	407	329	△78	△19.2
	合計	△254	27	281	—

*セグメント利益又は損失（△）の調整額は各セグメントに配分していない全社損益等。

【全体業績】 四半期別業績（連結）

SANKI

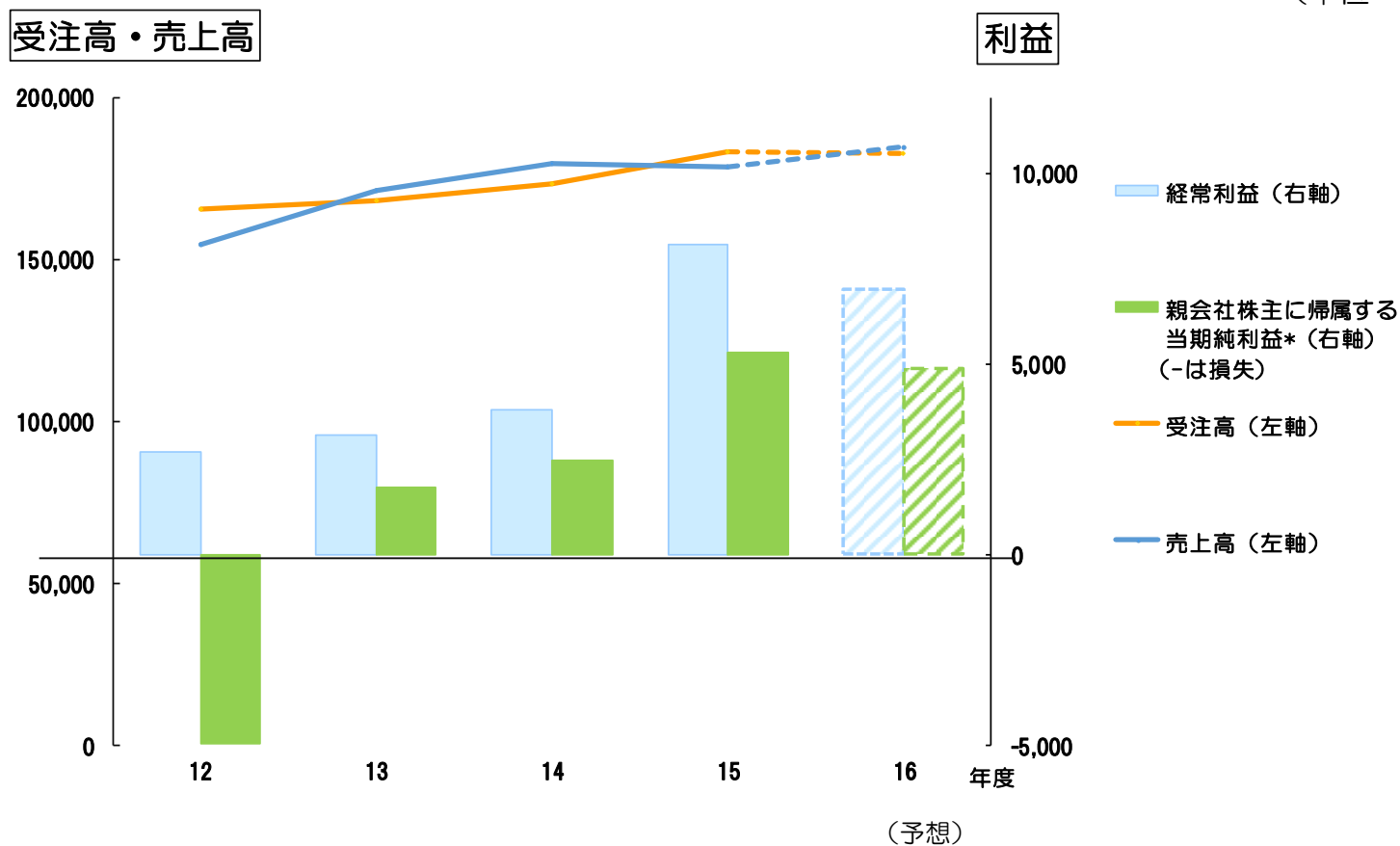
（単位：百万円）

	2015年度				2016年度
	第1	第2	第3	第4	第1
受注高	46,385	52,820	48,311	35,753	55,338
売上高	34,495	40,985	47,022	56,397	33,866
売上総利益	3,291	4,812	6,043	8,783	3,905
売上総利益率（%）	9.5	11.7	12.9	15.6	11.5
販売費及び一般管理費	3,921	4,005	3,783	4,709	4,171
営業利益（△は損失）	△630	807	2,259	4,073	△265
営業利益率（%）	△1.8	2.0	4.8	7.2	△0.8
経常利益（△は損失）	△254	778	2,554	5,055	27
特別損益（△は損失）	△55	30	96	△371	—
親会社株主に帰属する当期純利益（△は損失）	△266	521	1,790	3,282	△2

【業績推移】

過去5年の業績推移（連結）

（単位：百万円）

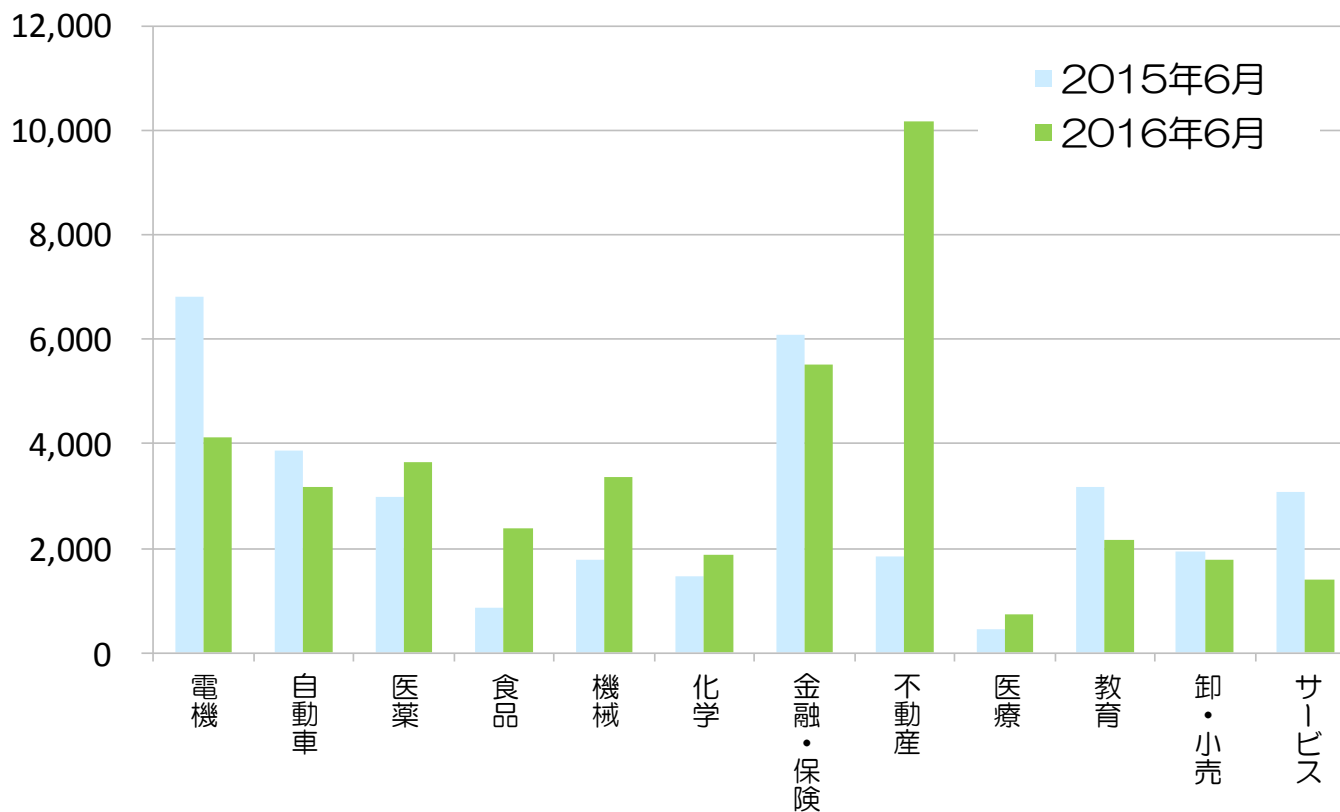


【受注】

SANKI

主要業種別受注動向（連結）

（単位：百万円）



【受注】 要素別受注動向

SANKI

(単位：百万円)

	2013年度 通期	2014年度 通期	2015年度 通期	2015年 6月 A	2016年 6月 B	前年同期 対比 B-A
受注高（個別：建築設備）	137,027	143,708	145,069	35,032	44,245	9,212
間接受注高（個別：建築設備）	73,608	68,963	72,751	16,763	16,054	△709
間接受注工事高比率（個別：建築設備）（%）	53.7	48.0	50.1	47.9	36.3	△11.6 pt.
受注高（連結）	168,295	173,398	183,270	46,385	55,338	8,952
海外工事受注高（連結）*	3,055	2,931	2,343	547	468	△78
海外工事受注高比率（連結）（%）	1.8	1.7	1.3	1.2	0.8	△0.4 pt.
リニューアル工事受注高（連結）	88,473	93,339	99,920	24,355	23,724	△631
リニューアル工事受注高比率（連結）（%）	52.6	53.8	54.5	52.5	42.9	△9.6 pt.
<参考>リニューアル工事売上高（連結）	98,024	96,468	96,325	18,255	20,525	2,270

*非連結子会社の三机建筑工程（上海）有限公司は、海外工事受注高に含まない。

【受注】 主な大型受注物件

- 武田薬品工業 光工場
（空調設備工事）〈新築〉
- 大和市北部浄化センター
（下水処理設備）〈維持管理〉

他3件

【受注】

SANKI

10億円以上の大型受注物件（業種別）

	2015年6月		2016年6月	
事務所	1	5件 (6,379百万円) *うち直接受注 1件 間接受注 4件	1	5件 (13,464百万円) *うち直接受注 4件 間接受注 1件
工場	2		2	
試験・研究所	1		—	
廃棄物処理場	1		—	
上・下水処理場	—		1	
発電所・変電所	—		1	

【利益】

利益改善要因と施策（連結）

- 原価管理の徹底
- 現場サポート体制の整備
 - ・調達本部による購買業務支援
 - ・サイト業務支援センターによる現場業務支援の対象拡大
 - ・設計支援センター（2016年4月新設）による設計業務支援
 - ・技術エキスパートによる品質監査
- 協力会社との関係強化
 - ・全国協力会連絡会の実施
 - ・三機スーパーマイスター制度の制定

【財務状況】

貸借対照表（連結）

SANKI

（単位：百万円）

	2015年度末	2016年6月	前年度末対比	増減率（%）	2015年6月
流動資産	115,491	98,761	△16,730	△14.5	100,946
固定資産	53,931	50,567	△3,363	△6.2	60,272
投資有価証券	34,789	31,570	△3,218	△9.3	39,967
流動負債	72,863	57,367	△15,496	△21.3	57,764
固定負債	12,001	11,023	△978	△8.2	19,493
純資産額	84,557	80,938	△3,618	△4.3	83,960
其他有価証券評価差額金	13,012	10,541	△2,471	△19.0	15,575
総資産額	169,423	149,329	△20,093	△11.9	161,218
1株当たり純資産額（円）	1,328.60	1,271.88	△56.72	△4.3	1,320.46
自己資本比率（%）	49.8	54.1	4.3 pt	—	52.0
有利子負債（連結）	5,992	5,138	△853	△14.2	5,272

キャッシュ・フロー計算書（連結）

- 現金および現金同等物の残高は、対前年同期末および対前年度末でともに増加
- 営業キャッシュ・フローの増加は、主に売上債権の回収が進んだことによる
- 投資キャッシュ・フローの減少は、主に投資有価証券の取得による
- 財務キャッシュ・フローの減少は、主に短期借入金の返済および配当金の支払いによる

（単位：百万円）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年 6月	2016年 6月
営業キャッシュ・フロー	9,729	△9,403	△139	5,220	8,486	3,375
投資キャッシュ・フロー	△9,481	△3,506	3,440	5,520	1,079	△573
財務キャッシュ・フロー	△1,028	△4,152	△2,901	△1,826	△1,877	△2,224
期末現金及び現金同等物	40,367	23,510	23,667	32,501	31,282	33,047

【業績予想】

SANKI

2016年度 業績予想（連結）

繰越工事高の増加に伴い、年度売上高は増収、営業利益は横ばいの見通し（期初予想から変更なし）。

（単位：百万円）

	2015年度実績			2016年度予想 (8月10日 期中予想)			前年度対比		
	上期	下期	計	上期	下期	計	上期	下期	計
受注高	99,206	84,064	183,270	96,000	87,000	183,000	△3,206	2,936	△270
売上高	75,480	103,420	178,901	76,000	109,000	185,000	520	5,580	6,099
営業利益 (△は損失)	176	6,333	6,509	△100	6,600	6,500	△276	267	△9
経常利益 (△は損失)	524	7,610	8,135	300	6,700	7,000	△224	△910	△1,135
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (△は損失)	255	5,072	5,327	200	4,700	4,900	△55	△372	△427

【受注予想】

SANKI

2016年度 セグメント別受注予想（連結）

当社全体の年度受注高予想は前期からほぼ横ばいの見通し。

（単位：百万円）

セグメント	2015年度 実績	2016年度 予想 (8月10日期中予想)	差額
ビル空調衛生	66,172	66,900	728
産業空調	52,522	52,000	△522
電気	22,667	21,000	△1,667
ファシリティシステム	11,070	10,000	△1,070
建築設備 計	152,432	149,900	△2,532
機械システム	10,309	9,500	△809
環境システム	19,610	22,000	2,390
プラント設備 計	29,919	31,500	1,581
設備工事 計	182,352	181,400	△952
不動産	1,532	1,600	68
その他	524	500	△24
調整額 *	△1,139	△500	639
合計	183,270	183,000	△270

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【売上予想】

SANKI

2016年度 セグメント別売上予想（連結）

堅調な受注状況により、ビル空調衛生において大幅な売上高増収の見通し。

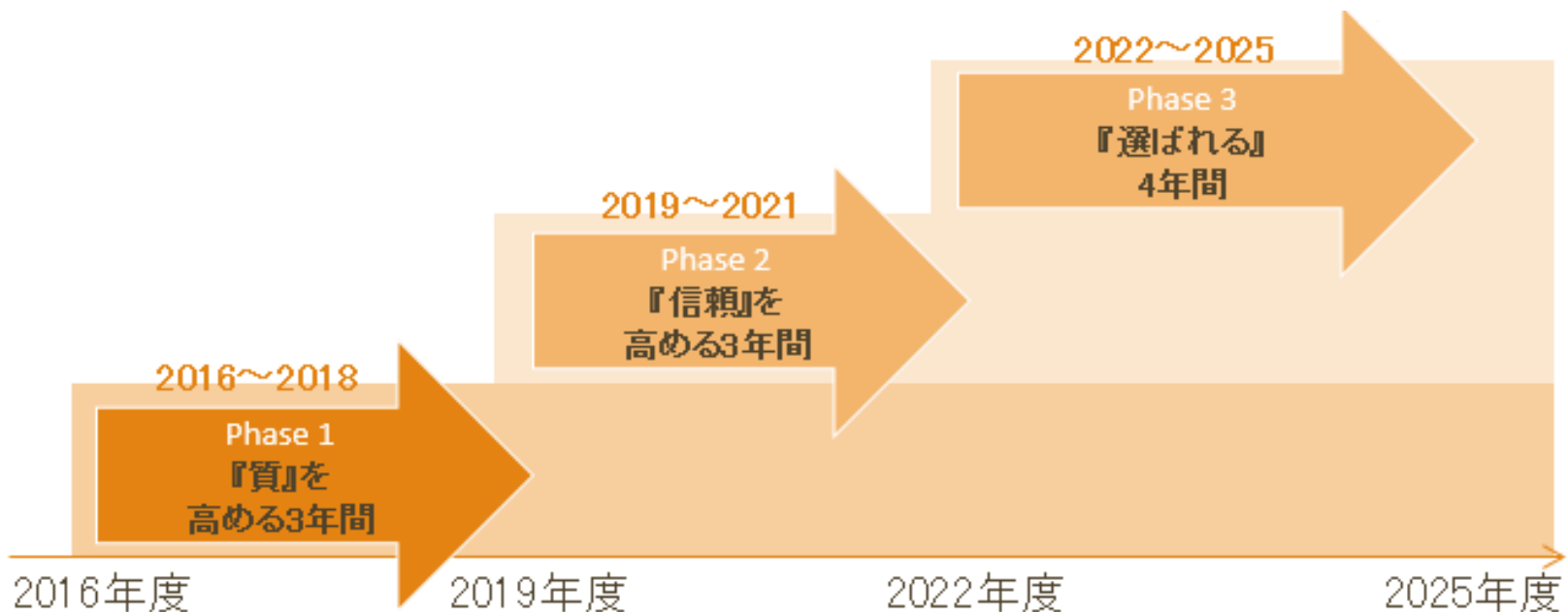
（単位：百万円）

セグメント	2015年度 実績	2016年度 予想 (8月10日期中予想)	差額
ビル空調衛生	64,492	70,900	6,408
産業空調	52,084	52,000	△84
電気	22,958	22,000	△958
ファシリティシステム	10,416	10,000	△416
建築設備 計	149,952	154,900	4,948
機械システム	9,217	9,500	283
環境システム	18,734	19,000	266
プラント設備 計	27,951	28,500	549
設備工事 計	177,904	183,400	5,496
不動産	1,532	1,600	68
その他	542	500	△42
調整額 *	△1,077	△500	577
合計	178,901	185,000	6,099

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

長期ビジョン“Century 2025”

10年間で「質」と「信頼」をさらに高め
お客さまから もっと「選ばれる会社」を目指します



- Phase1⇒変化に対応できる土台として 技術と英知を磨き 人を育て 「質」を高めます
- Phase2⇒高い「質」がお客さまの満足を生み 満足・安心から「信頼」へと前進します
- Phase3⇒高めた「信頼」で より多くのお客さまから「選ばれる」会社に進化します

中期経営計画“Century 2025” Phase1

重要課題と戦略

1. 技術力の継承

三機大和ビル（神奈川県大和市）を一部改装し、三機工業グループの根幹である「技術力」を次世代に継承・発展させるべく、総合研修施設「（仮称）三機テクノセンター」としてリニューアルします。

2. ストック時代への備え

「SANKI VITAL PLAN 90th」で打ち出したLCE事業をさらに推進し、将来、建設市場が減少した場合でも安定した経営が継続できる事業基盤を固めていきます。

3. 次世代技術開発

ロボット、IoT、人工知能等の新技術の発展を確実にキャッチアップし、次世代の技術開発を行う新たな研究開発拠点を「（仮称）三機テクノセンター」内に整備します。

中期経営計画“Century 2025” Phase1

ESG方針

従来の活動を有機的に統合し 戦略的に展開

	概 要
E（環境）	<p>地球温暖化対策の世界的な枠組み「パリ協定」合意や、これを受けたわが国の「地球温暖化対策推進法」等、地球環境保護はこれまで以上に重要となります。三機工業グループは事業内容そのものが地球環境保護に直結することをあらためて確認し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主力の建築設備事業では、より効率的な空調・衛生・電気・情報通信等の各種設備・システムの開発・納入により、産業部門・業務部門の温室効果ガス排出量削減に貢献します ②プラント設備部門でも、より省エネルギーな機器の開発を推進します ③事業運営のあらゆる場面で地球環境負荷低減を意識し、ISO14000シリーズに基づく活動を推進します
S（社会）	<ul style="list-style-type: none"> ①温室効果ガス削減量に応じて環境保全団体に寄付を行う社会貢献活動「SANKI YOU エコ貢献ポイント」を継続し、植樹活動を応援します ②長時間労働対策や女性・高齢者の活躍の場の拡大など、より働きやすい職場環境を目指します
G（企業統治）	<ul style="list-style-type: none"> ①2015年12月に制定した「三機工業コーポレートガバナンス・ガイドライン」を軸に、2016年度から取り組みを本格的にスタートさせます ②取締役会を中心に、実効性を重視した内部統制システム・リスクマネジメントシステムの運用・改善を進めます ③「三機工業グループ コンプライアンス宣言」「三機工業グループ 行動規範・行動指針」および「三機工業グループ 行動基準」等の行動準則を遵守し、倫理的に行動する風土の維持・発展に努めます

将来の見通しに対するご留意事項

本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、8月10日時点で入手可能な情報に基づいてなされた当社の予測、想定、評価および判断によるものです。

従いまして、かかる予測等に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、当社の将来の業績、経営結果等と異なる可能性があります。

<主な要因>

- 取引先の信用リスク
- 資機材価格および労務費の急激な変動
- 株式相場の変動
- 退職給付費用および債務の増加
- カントリーリスク
- 設備工事等における事故および災害
- 不採算工事の発生
- 不動産事業におけるリスク
- 訴訟等に関するリスク
- 法的規制等によるリスク
- 自然災害の発生

本件に関する問い合わせ先
管理本部広報・IR部
TEL：03-6367-7041